

福祉の次世代産業を拓く

～日本福祉大学の研究シーズと
産官学連携を礎に～

勉強会

2023年1月～2月開催

開催場所：日本福祉大学
名古屋キャンパス
北館 7階 7B会議室

参加人数：各回10名 参加費：無料

(応募締切は開催4日前[勉強会2の第1回の締切は1月15日]. ただし先着順で定員に達し次第締切.)

福祉用具・機器の開発・商品化など、福祉にかかわる次世代産業の開拓に関心のある県内の企業・法人の皆様を中心に、日本福祉大学の研究シーズについて少人数でじっくりと学ぶ勉強会を開催します。勉強会への参加を契機として、新たな事業や製品の開発を目指していきましょう。今回はAIと移動・移乗支援の2テーマをとりあげます。是非御参加ください。



【勉強会1】

人工知能(AI)を 福祉に活かす

串田 淳一

日本福祉大学
健康科学部
福祉工学科
情報工学専修
教授

第1回：
2月10日（金）
14:00-16:00

第2回：
2月24日（金）
14:00-16:00



【勉強会2】

愛知版ノーリフティング ケアシステム (Aichiモデル) を考える

富田川 智志

日本福祉大学
健康科学部
リハビリテー
ション学科
介護学専攻
講師

第1回：
1月17日（火）
14:00-16:00

第2回：
2月15日（水）
14:00-16:00

※ 各勉強会の詳細は裏面をご覧ください。
※ 第1回のみ、第2回のみのご参加も可能です。

お申込みは
こちらから



勉強会各回の内容



【勉強会1】人工知能（AI）を福祉に活かす ※可能ならPCをご持参ください。

串田 淳一
(情報工学専修 教授)

第1回：2月10日（金） 機械学習について

人工知能(AI)は様々な技術を内包しており、初回の勉強会ではその中でも応用範囲が広い機械学習について紹介します。機械学習は現在のデータから重要なパターンや傾向を学習しておき、新しいデータが入力された際に予測や分類を行う技術です。この勉強会では、機械学習の仕組みや実装の方法について説明します。またAIは福祉の現場で活用が望まれています。実応用のためにはどのような準備や配慮が必要なのか?という点についても議論できればと思います。

第2回：2月24日（金） AI技術の応用について

2回目の勉強会では、機械学習だけではなく、福祉の現場などでも活用が期待される進化計算についても紹介します。進化計算は生物の進化を模倣した最適化手法です。コンピュータ技術の進歩とともに適用範囲も飛躍的に大きくなり、大規模で複雑な設計・制御などの分野で活用されるようになってきました。訪問介護や勤務者のスケジューリングなど、我々の身の回りにも様々な最適化問題があります。それらに対して進化計算を用いることで、どのようにして最適な解を発見できるかを解説します。

- 人工知能(AI)は身近なサービスでも使われるようになり、高い関心を集めています。勉強会では、AIの中核である機械学習について実例とともに詳しくご紹介します。
- AIは、高齢者の見守りなど福祉をテーマとする新産業創出に向けた様々な場で応用できる可能性があります。第2回では最適化アルゴリズムにも焦点を当て、応用方法などを幅広く紹介します。



【勉強会2】愛知版ノーリフティングケアシステム(Aichiモデル)を考える

冨田川 智志
(介護学専攻 講師)

第1回：1月17日（火）NLCの好事例と可能性について

腰痛は特に介護・医療従事者に多く見られ、企業および社会にも大きな損失をもたらしています。そこで国は、介護・医療分野において、労働安全衛生の視点に基づき、福祉用具/機器、介護ロボットを積極的に活用した腰痛予防に関する取り組み「ノーリフティングケア(NLC)」を推奨しています。そこでこの勉強会では、介護労働における腰痛予防対策に関する国際的な考え方、日本におけるNLCの取り組み状況、NLCの好事例(高知モデル)について紹介します。

第2回：2月15日（水）Aichiモデルの開発に向けて

NLC推進には、高知モデルのように、県と県内の福祉・医療分野の関連団体・企業が一体となって取り組むことが重要です。それは、介護・医療現場のニーズに対応した福祉用具/機器、介護ロボット開発でも同様と考えています。そこでこの勉強会では、参加企業の商品紹介を通して、愛知県の強みを活かしたNLC関連商品の強化・開発、県内の産学官が一体となって取り組む愛知版NLCシステム(仮称:Aichiモデル)の開発について、実現に向けた議論を行いたいと思います。

- ノーリフティングケア(NLC)は、国際的に推奨されている腰痛予防対策です。NLC推進には、自治体や福祉用具/機器、介護ロボットの関連企業などとの一体的な産学官連携が必要不可欠です。
- NLCの先駆的取り組みである「高知モデル」を参考に、NLC関連商品の開発と新たなNLCシステム(Aichiモデル)の開発実現に向けた議論を行いたいと思います。

会場案内



日本福祉大学
名古屋キャンパス
(北館7階7B会議室)

鶴舞駅より徒歩5分
↓R鶴舞駅,
名古屋市営地下鉄
鶴舞駅(2番出口)

※セミナー御参加にあたっては、マスクの着用、手指の消毒などご協力をお願いいたします。また発熱など体調が優れない場合は、参加をご遠慮ください。

お問合せ：

日本福祉大学 研究課
(担当：朝川、榎本)

〒470-3295 知多郡美浜町奥田
tel: 0569-87-2324 fax: 0569-87-3973
e-mail: kenkyu@ml.n-fukushi.ac.jp